学校通信 耕

河北町立谷地西部小学校
令和７年１２月２５日　発行
Ｎｏ．３３４

学校 HP

教育目標　　一人ひとりが　自分らしく育つ学校づくり
みんなの合言葉「やってみよう、かかわろう、感じよう・考えよう」

　皆様にとって令和７年はどんな年でしたか？「この暑さはいつまで続くのだろう」と思った夏。その暑さの話題をさらっていったのは、クマ。まさかまさか、私たちの日常にクマの脅威を感じる日が来るとは、想像もしていませんでした。現代は VUCA の時代（予測不能な時代）といわれますが、どこか他人事だったなと感じます。そんな中でも、谷地西部小学校の子ども達の生き生きと学ぶ姿に、たくましさを感じました。学校は子ども達の命を守ることから始まる、その原点を改めて胸に刻む１年だったように思います。
　令和8年の干支は丙午（ひのえうま）。丙＝火のように明るくつよい性質。午＝行動力と元気の象徴。子ども達の元気があふれ、活気に満ちた１年になるような予感がします。令和8年も、保護者の皆様、地域の皆様にとって、喜び溢れる１年になることをお祈念いたします。今後とも、子ども達の明るい笑顔が輝くよう、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

北谷地小との交流会

　北谷地小学校のお友達との２回目の交流会が行われました。今回は低学年と中学年は谷地西部小学校で、高学年は北谷地小学校での開催です。自己紹介やミニゲームで心と体をほぐした後は、それぞれの学年に分かれて学習しました。特に、６年生は、まもなく河北中学校で一緒になる子ども達同士だったので、行く前は緊張していましたが、一緒に活動する中で不安が取り除かれていったようです。

地域の先生から学ぶ　「沢畑地区の秘密」

3、4 年生は、総合的な学習の時間に沢畑に残っている「気になるもの（史跡）」についてもっと知りたいと、学びを進めてきました。休日には保護者の方と見に行ったり、疑問を出し合ったりしました。クマ出没の影響で、自転車での史跡をめぐりはできませんでしたが、地域の先生の阿部新蔵さんから詳しくお話をお聞きすることができ、充実した学びになりました。

木曜日の五時間目に阿部新ぞうさんのお話を聞きました。一人一人質問しました。ぼくは、「地蔵堂の地蔵様に、体の痛いところをなでた紙をはると、痛みがなおるのですか。」と質問しました。阿部さんは、「そう言われています。でも、昔は神頼みしても治らなかったこともあったでしょうね。」と言っていました。最後に沢畑の由来を記した国宝の複製を見せてくれました。国宝と聞いて驚きました。また、くわしく聞いてみたいです。

児童の感想より

地域の先生から学ぶ　「書初め指導」

今年も、地域の書道の先生の朝烏和夫さんから、書初め指導をしていただきました。伺ったところ、かれこれ 22年ほど、谷地西部小学校の子ども達に書初めを指導なさっているそうです。お陰様で、「友だち」「明るい心」「進む勇気」「平和な国」というそれぞれの言葉に思いを込め、丁寧に書くことができました。年明けの書初めが今から楽しみです。

3学年行事「陶芸と秋の山寺散策」

山寺焼ながせ陶房で陶芸教室を体験してきました。難しい工程もありましたが、先生にフォローしていただき素敵な作品を作ることができました。焼き上がりが楽しみです。

昼食後は山寺を参拝しました。千十五段の石段を疲れた様子もなく登る子ども達には驚かされました。山頂での美しい景色と達成感を味わった子ども達。こうした経験も様々な力を育てる大切な一歩になったと感じます。

最後に免許証風の二分の一成人証を手渡し、これまでの成長をみんなで確かめ合う良い節目となりました。

三学年委員長　小野友寛

学校だよりは谷地西部小 HP でもご覧いただけます。また、子ども達の日々の様子は、HP 内の学校ブログで紹介しています。『耕』タイトルの右端 QR コードからどうぞ！
登下校時の見守りや声がけに感謝申し上げます。今後とも「よろしくお願いいたします。